

# 採用後の処遇

## 人材育成・勤務地について

採用時の勤務地は、中国四国管内の各機関とし、職種や本人の希望を考慮して概ね2～3年程度で異動となります。

また、本人の意欲と適性があれば農林水産本省(東京)や他の地方農政局(東北～九州)での勤務、さらには農林水産省の他の機関、他府省などで活躍する場も開かれ、様々な業務経験を積みながらキャリアアップを図ることができます。

【例】一般職大卒(行政)の場合



## 研修制度

まず1年目には、採用後すぐに行われる一般職試験採用者研修、秋に農家等での現場主義実地研修を受けていただきます。

その後も、行政研修(係員・係長・課長級など)、専門研修などを通して、職員の資質向上と業務能率の増進を図っています。役職や職務に応じて中国四国農政局、農林水産省、人事院などそれぞれが実施する研修に参加することで、スキルアップを図っていただきます。

- 一般職採用者研修
- 現場主義実地研修
- 係長養成研修
- 係長フォローアップ研修
- 課長補佐等養成研修
- 課長補佐フォローアップ研修
- 管理者研修
- 女性職員キャリアアップ研修
- 外部有識者による業務研修
- 食品安全行政担当者研修
- 特定家畜伝染病防疫講習会
- 勤務時間・休暇制度説明会
- 給与実務初任者研修(俸給・給与・支給)
- 服務制度等説明会
- 会計実務研修

現場主義実地研修の様子



**【参加した職員からのコメント】**  
実際の農家さんで作業を経験することで農業の楽しさとともに大変さも知ることが出来ました。私が体験した時は、台風が近づいていたため、台風対策の準備等体力を使う作業もありました。美味しい農作物を食べることが出来ているのは、農家さんのおかげであることを改めて感じ、食をさらに大切にしていこうと思いました。また、普段は主にデスクワークですが、業務に関係する現場を知ることで責任感がより強くなる貴重な機会でした。  
みんなでわいわいおしゃべりしながら作業したり、おいしいご飯がいただけたりするのも、この研修の醍醐味です。

# キャリアアップ

職員のキャリアアップの例についてご紹介いたします。  
※組織再編等のため、現在とは係名等が変わっている場合があります。  
※掲載している例は経歴を一部省略しているものがあります。

